

令和7年度 第3回全体庁議（7月14日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(3) 令和7年2月の大雪除雪に関する検証と今後の方向性について〔都市環境部〕
----	-------	--------------	---

■ 提案・報告の趣旨

本年2月に発生した大雪に対する除排雪の取組みを検証し、今後の取組みの方向性を整理したことから、令和7年7月24日の建設委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

- はじめに
令和7年2月3日から4日に発生した大雪に対する除排雪の取組みを検証し、今後の大雪の対応に活かしていく。
- 気象の概況
4日9時までの24時間降雪量が帯広市の観測史上最多となる124センチ、3日21時からの12時間降雪量が国内の観測史上最多となる120センチなど記録的な大雪となった。
- 大雪による影響
 - ・道路網への影響：車のスタックなど市内全域で交通障害が発生し市民生活に大きな影響が生じた。
 - ・公共交通機関への影響：バスが4日から6日まで全線運休し再開に時間を要し、タクシー等も運行に影響が生じた。
 - ・公共施設への影響：小中学校等が4日から6日まで休校したほか、学校給食の配送等に影響が生じた。
 - ・その他の影響：ごみ収集が4日に休止し再開後も収集困難な状況が続き、収集量は通常時の約30%にとどまった。
 - ・被害状況：物的被害26件（市有施設5件、その他施設21件）と救急出動7件が報告された。
- 大雪の対応
 - ・庁内体制：4日に雪害対策本部を設置し、交通障害解消に向け国や北海道、交通事業者と連絡会議を4回開催。
 - ・除排雪の実施状況：新雪除雪のほか、給食搬入路やバス路線を中心に幹線道路等の拡幅・排雪を3月13日まで実施。
 - ・国や北海道による支援：雪害対策本部へのリエゾンの派遣に加え、スクラム除雪等により排雪作業を実施。
 - ・市民への情報発信：ホームページやLINE等を通じて、除排雪や施設の開館状況などを随時発信した。
 - ・市民からの問い合わせ：4日から7日までに生活道路や歩道の除雪などについて1,309件の問い合わせがあった。
- 大雪の検証と今後の方向性
 - ①除雪体制に関すること
 - ・効率よく計画的に除排雪作業を行うため、優先度の考え方を整理する。
 - ・交通障害を早期に解消するため、各除雪センター間の排雪作業の応援体制を検討する。
 - ・国や北海道等との連絡調整をはじめ、除排雪支援や排雪ダンプ等の確保などについて連携を強化する。
 - ②情報発信に関すること
 - ・除雪情報や注意喚起など、市民の理解と協力を得るための情報発信について検討する。
 - ③連携体制に関すること
 - ・円滑な道路の除排雪作業を行うため、国や北海道をはじめ、交通事業者や庁内関係課と連携を強化する。
 今後の大雪への対応を「帯広市総合除雪基本計画」に加えるなど大雪対策に取組む

■ 今後のスケジュール

令和7年7月24日 建設委員会へ「令和7年2月の大雪除雪に関する検証と今後の方向性について」を報告
 令和7年8月21日 建設委員会へ「第二次帯広市総合除雪基本計画（改訂原案）」を報告
 令和7年9月1日～30日 「第二次帯広市総合除雪基本計画（改訂原案）」のパブリックコメントを実施
 令和7年11月 建設委員会へ「第二次帯広市総合除雪基本計画（改訂案）」を提出

■ 審議結果

- ・同内容で、7月24日建設委員会へ報告することです承された。

■ その他、指摘事項等

- ・特になし